



## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	Can Get Signal® Immunoreaction Enhancer Solution
製品コード	NKB-101,-101T, -101S, -201, -229B, -301, -329B
会社名	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	バイオプロダクト営業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途および使用上の制限	抗体反応の促進（研究用試薬）

### 2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響 有害性	通常の状態では人の健康に対する有害な影響は小さいが、有害性の調査が十分ではないので、取扱いには注意する。
環境影響	環境影響に関する調査が不十分なので、取扱いには注意する。
物理的及び化学的危険性	通常の状態では危険性は小さい。
特有の危険有害性	特になし。
GHS分類	分類できない

### 3. 組成、成分情報

#### 単一製品・混合物の区別

化学名または一般名	混合物(水溶液)	
濃度	りん酸二水素ナトリウム	塩化ナトリウム
化学特性（化学式）	0.3%以下	2.0%以下
CAS番号	NaH <sub>2</sub> P <sub>04</sub>	NaCl
官報公示整理番号	7558-80-7	7647-14-5
	化審法:1-497	化審法:1-236
	安衛法:公表	安衛法:公表

化学名または一般名	カゼイン	イソチアゾリン系防腐剤	ノニオン系界面活性剤
濃度	0.02%以下	0.001%以下	0.2%以下
化学特性（化学式）	-	-	-
CAS番号	9000-71-9	-	-
官報公示整理番号	対象外	-	-

### 4. 応急措置

吸入した場合	誤って吸入した場合、新鮮な空気の場所に移動する。異常がある場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水で十分洗い流す。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受ける。
眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合	できるだけ吐き出させ、異常がある場合は医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤	水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤
消火を行う者の保護	消火作業を行う際は風上から行う。大規模火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	眼、皮膚への接触、吸入を避ける。回収の際は適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	直接河川など環境中に放出しない。
除去方法	可能な限り、減圧で吸収したり、ウェスなどに吸収させて密閉式の空容器に回収する。



## 安全データシート

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

技術的対策

注意事項

安全取扱い注意事項

#### 保管

適切な保管条件

安全な容器包装材料

使用時は保護具を着用し、接触を避ける。  
眼、皮膚、衣服への接触を避け、取扱い後は充分、手を洗浄する。  
取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。

全ての試薬は3～8℃で保管する。  
本製品に使用されている容器内で保管する。

### 8. 暴露防止及び保護措置

#### 保護具

呼吸器の保護具

手の保護具

眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

必要に応じてマスクを着用する。  
ゴム手袋を着用する。  
保護眼鏡を着用する。  
必要に応じて保護衣等を着用する。

### 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状

色、臭い

pH

引火点(℃)

発火点(℃)

爆発特性

密度

溶解性

4℃で液体。-20℃で固体。  
無色透明、ほとんど無臭。

7.0～8.0

引火性はない。

発火性はない。

爆発性はない。

1.0～1.2mg/cm<sup>3</sup>

水に可溶。

### 10. 安定性及び反応性

安定性

反応性

避けるべき条件

危険有害な分解生成物

3～8℃で安定。  
通常の条件下では安定である。  
高温、直射日光、火災などによる強熱、強酸化剤、  
還元剤  
データなし。

### 11. 有害性情報

急性毒性

局所効果

知見なし。

知見なし。

### 12. 環境影響情報

移動性

残留性/分解性

魚毒性

水溶性あり、水系に拡散する。

知見なし。

知見なし。

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

汚染容器・包装

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理委託することが好ましい。本製品の低濃度廃水は活性汚泥処理を行うことができる。焼却する場合には、焼却設備により大気汚染防止法令等に従い、おがくずなどに吸収させて焼却炉で少しずつ焼却する。その施設・地域の廃棄規則に準じて廃棄する。



## 安全データシート

### 14. 輸送上の注意

国際規制

海上

非危険物

航空

非危険物

国内規則

陸上

非危険物

海上

非危険物

航空

非危険物

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
3～8℃で保存し、輸送する。

### 15. 適用法令

0.1%以上の化学物質管理促進法指定化学物質、労働安全衛生法通知対象物は含まれていない。毒物劇物取締法の毒物、劇物は含まれていない。

### 16. その他の情報

参考文献

厚生労働省 職場のあんぜんサイト

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp>

NITE:独立行政法人 製品評価技術基盤機構

<http://www.nite.go.jp/>